

「AI発行・配本適正化」は25年度中に外販へ

目指しています。その中で、さらに当社の考え方や、提供するソリューションが実現する効果などを発信して、業界の皆様を理解していただくことも大きなテーマです。正しい情報になるべくオープンにお知らせしていきます。

出版社によるコミックスへのタグ貼付は株主である講談社、小学館、集英社にKADOKAWAを加えた4社が行っていますが、6社目までの貼付拡大については別途が付いており、さらなる貼付拡大を加速していく方針です。また、貼付対象ジャンルの拡大にもつながることで経済効果を生み出すのは事実ですが、出版社のメ

目指しています。その中で、さらに当社の考え方や、提供するソリューションが実現する効果などを発信して、業界の皆様を理解していただくことも大きなテーマです。正しい情報になるべくオープンにお知らせしていきます。

出版社によるコミックスへのタグ貼付は株主である講談社、小学館、集英社にKADOKAWAを加えた4社が行っていますが、6社目までの貼付拡大については別途が付いており、さらなる貼付拡大を加速していく方針です。また、貼付対象ジャンルの拡大にも

また、経済産業省の書店振興プロジェクトチームの検討でRFIDについて明記されましたので、こちらもぜひ形にしていきたいと思っています。

加えて、RFIDの業界への普及に向けては出版社様の貼付拡大も極めて重要です。RFIDという書店へのメリットがわかりや

最初は「物流危機からの脱却がテーマだったわけですが、出版業界のサプライチェーンを研究していく過程で、物流だけでは解決できない」との結論に至り、デジタルソリューションの新会社の設立につながっています。今後もこれまでの業界常識や慣習にとらわ

Xを設立した22年よりかなり前から携わってきました。

9 店舗でスタート

多くの出版社に使っていただけけるよう
今後は販売活動にも注力してい
きます。

今後モデジタルソリューション 予定している「AI発行配本ソ
はPubtexの事業の根幹では リューション事業」とRFID 静岡県に本社を置く鈴与という物
あるものの、パートナー企業と事業」の2事業でしっかり価値を 流会社に入社し、7年間、国際物

——事業の進み具合などはいかがですか。

も協業してミッシングピースを提供していきますが、中長期的には出版業界の改革につながるソリューションを広く提供していきたいと考えています。

は、ロジステイクス事業の企画営業です。

30歳で丸紅に中途入社した後、ロジステイクス事業の企画営業として2年半経ちましたが、当初の計画通りにいかないと考えています。

は、ロジステイクス事業の企画営業として2年半経ちましたが、当初の計画通りにいかないと考えています。

いことも多く、課題感と危機感を強く感じています。

一方、「RFID」については、試験導入した大垣書店と有隣堂書店が、物流改善だけでなく、業務、事業運営の経験を積んだのちに、新規事業として、デジタルを

し本格的にサー
ビス提供を開始
します。導入書
店数は来年度末
で100店舗を
のために、業界
全体の改善を
目指すため、
あらゆる打ち
手を検討して
います。今年
はとにかく導
入していただ
ける書店数を
増やしてい
くことが重要
であり、その
実には17年
から、つまり
Pubt eXプロ
ジェクトに関
わっていたの
です。社長就
任前からプロ
ジェクトを最
適化するディ
ジタルSCM
事業を立ち上
げ、企業のサ
プライチェーン
改革に取り組
んでまいりま
した。当社に
ついてはその
事業

Pubtex 渡辺順社長に聞く

趣味は旅行、キャンプ、ゴルフは練習中です。

——ありがとうございます。

